

第2回 学校評議員会、学校関係者評価委員会でいただいたご意見

★ご意見

- ・12月の5年生の学力調査の状況を聞いて、大変良い結果でうれしい。先生方が密度の高い授業をしていることがわかる。笠野は、少人数なので、マンツーマンの指導をしてもらえる良さがある。より一層の指導をお願いしたい。
- ・6年生を送る会も大変良かった。司会進行、会の準備など、子供が主体で行っているところがよい。一人一人が主役になれる。また、一人一人の役割が多いため、発言(発表)する場も多いので、人前で話す力もつくのではないかと思う。
- ・送る会は、とても心が温まる会であった。ただ、マスクをしているので、せっかくの音が聞きとりにくい場面があった。ゆっくり、はっきり話すよ。現在、コロナ禍でマスクをしている世の中である。このような状況だからこそ、場に応じた話し方ができるようになるとよい。
- ・メディア週間について、家では、自分で時間を決めて行えるようになってきた。「あと30分は見ることができる。」など、メディア週間を意識しているようだ。
- ・メディア週間があることにより、子供自身が意識する。意識できることが大事なことはないか。メディアの内容のとらえは、確かに親と子どもでは違っているが、子供はメディア週間になると時間やきまりを守っているので、今後も取り組みをしてくれるとよい。

★質疑応答

Q 宿泊体験学習は、どのように行ったのか。津幡町には、キンシュレもできたが、活用するのか。

⇒ 宿泊体験学習は、毎年3校合同で5,6年生が行っている。キンシュレは、来年度、3校合同(笠野・刈安・萩野台)で3,4年生が活用する予定。また、4月28日には、3校合同で「春のなかよし遠足」として、キンシュレに行く予定である。

Q メディアについて、保護者と児童のアンケートに差があるとのことだったが、メディアとは、どこまでの範囲をいうのか? 子供にテレビを見ていたので注意をしたら、「これは、ちがうから大丈夫」と言われたが……。

Q テレビが家族の共有する場所(リビングなど)にあり、メディア週間中に中学生の兄がテレビを見たり、家族の誰かが見たりするので困ってしまうのだが。

⇒ メディアの内容に関しては、再度学校でも確認をしたい。メディア週間を活用して、ご家庭でのルールを確立し、子供だけでなく、家族でメディア週間に取り組んでいただけるとありがたい。中学生になれば、自分でコントロールしていかなければならないことでもあるので、ご家庭の協力を引き続きお願いしたい。

貴重なご意見ありがとうございます。
今後の学校運営に活かしてまいります。

